

母性看護学概論

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

母性看護の基盤となる概念を踏まえ、女性の一生を通じた健康の保持・増進および次世代の健全育成をめざす看護のあり方を理解する。また、母性看護の主な対象となる妊娠・分娩・産褥・新生児の基本的な生理を理解する。具体的には、母性看護の基盤となる概念（リプロダクティブヘルス/ライツ、ヘルスプロモーション、セクシャリティ等）、女性のライフステージ各期における看護、リプロダクティブヘルスおよび妊娠・分娩・産褥・新生児の生理に関する内容を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から、母性看護の特徴を踏まえた健康を支えるための基本を学ぶことにより、母性看護の対象となる人々の社会生活を支え、健康を保持増進または予防するための基本的な役割を理解することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 7

・到達目標（SBO）

1. 母性看護の諸概念を理解できる。
2. 女性のライフステージ各期の健康課題を理解し、その看護の役割について説明できる。
3. 妊娠・分娩・産褥および新生児の基本的な生理を理解し、その看護の役割について説明できる。
4. 特別な支援を要する事例（不妊症、暴力・虐待を受ける人たち等）を通し、現代社会における特有な健康課題について理解できる。
5. 人々のリプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から、対象者の社会生活を支える看護のあり方を理解できる。

・授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/3	水	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	母性看護の基盤となる概念 ・母性看護の諸概念を理解できる
4/17	水	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	女性のライフステージ各期における看護 ・女性のライフステージ各期の健康課題を理解できる ・各期における看護の役割を説明できる
4/24	水	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	妊娠の生理と看護 ・妊娠の基本的な生理を理解し、看護の役割について説明できる
5/8	水	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	分娩の生理と看護 ・分娩の基本的な生理を理解し、看護の役割について説明できる
5/15	水	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	産褥の生理と看護 ・産褥の基本的な生理を理解し、看護の役割について説明できる
5/22	水	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	新生児の生理と看護 ・新生児の基本的な生理を理解し、看護の役割について説明できる
5/29	水	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	特別な支援を要する健康課題 ・特別な支援を要する事例（不妊症、暴力・虐待防止等）を通し、現代社会における特有な健康課題について理解できる

6/5	水	2	成育看護学講座	蛎崎 奈津子 教授	総括 ・人々のリプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から、対象者の社会生活を支える看護のあり方を理解できる
-----	---	---	---------	-----------	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護	中込さと子、他著	メディカ出版	2019
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践	小林 康江、他著	メディカ出版	2019

・成績評価方法

定期試験 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で講義に臨むこと。講義終了後は教科書や配付資料、ノート等にて復習を行い、次回の講義に臨むこと。各授業に対する事前事後学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師（別表 1）：基礎助産学

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 母性看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影